



佐藤 勉さん(72) 麗子さん(71) 豊里町・大曲 昭和37年1月入籍

夫婦一緒に楽しむことが田満の「ツ

★結婚当時の思い出は 【勉】20歳でお見合い結婚しました。家業である農業のほか、運送会社に勤務。沖縄以外は回ったので、道路には詳しいですよ。特に福岡県で観た朝霧に包まれたボタ山の風景がとても幻想的でした。 【麗子】米山町桜岡貝待井から嫁いで来ました。おしゅうとさんからいろいろ教えてもらい、勉強になりましたね。 ★印象深い出来事は 【勉】ボランテアで水辺の公園にパークゴルフコースを造りました。楽しんでいる人たちを見るとうれいすね。 【麗子】子どもたちを連れて、動物園や海水浴に行ったことが思い出ですね。 ★現在の楽しみは 【勉】パークゴルフ。みんなと一緒にプレイするのが楽しいです。 【麗子】シルバー人材センターで働いています。休憩時間におやつを食べたり、話をしたりすることが楽しいです。 ★夫婦円満のコツは 【二人】夫婦で何かを楽しむこと。毎年、山形県尾花沢市に新そばを食べに行きます。 ★やりたいこと 【勉】地区の豊里夏祭りや大運動会などをみんなで楽しくやっていたい。そのために健康が一番ですね。 【麗子】生まれ故郷である中国の吉林省に行ってみたくすね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

素晴らしいふるさとをもっと発信してほしい

私たち東京いしこし会は、他の町人会よりも遅く、平成6年11月に発足しました。東京麹町会館で行った設立総会には、250人の会員が集い、設立を祝いました。第22回目の今年の総会は11月8日、東京にある東天紅上野店で盛大に開催。歌や踊り、楽しい語らいなどでふるさとを懐かしみました。 私が中学生の頃は、母に言われてよくお使いに行きました。自転車にまたがりさっそうと出かけるのです。父が飲むお酒を近くにある石越醸造まで買いに行くこともありました。家族のために進んでし

二階堂 忠男さん(70)

登米市在京町人会連絡協議会役員、東京いしこし会会長 石越町(遠沢)出身



たお使いが、今では懐かしく楽しい思い出です。「澤乃泉」は広く世に知れ渡っています。昔はこんなにも有名になるとは思ってもいませんでした。そこには永年にわたる涙ぐましい努力と研究、東北人特有の「粘り」があったからこそ今日の繁栄があるのだと思います。ふるさとに帰ったときに飲むのはいつもこのお酒です。澤乃泉は、いつでも私とふるさとをつないでくれるありがたいお酒です。 また、登米市には何と云ってもおいしい「米」があります。「はつと」や「油麴」、神楽祭りもあります。多くの白鳥が飛来し、美しいハスが沼に広がります。ふるさとには素晴らしい物産や芸能、自然があるのですから自信を持って、もつともつと売り込んでほしいです。ふるさとの人々はあまりにも謙虚過ぎるようになってなりません。私たちにも大いに発信してほしいです。 東日本震災から4年8ヶ月が過ぎました。今もお懸命に復興に力を注いでいる市民の皆さまに対して、敬意を表します。私たちも微力ながら復興支援を行い、登米市発展のため今後も協力していきたいと思ひます。

おらほの道の駅

道の駅みなみかた 「もっこりの里」



▲野菜づくり体験の様子

農業の担い手をじっくり育成

今月は、道の駅みなみかた「もっこりの里」の永浦敬悦隊長にお話を伺いました。 Q道の駅みなみかたの特徴や取り組みなどを教えてください。 A道の駅は、道路利用者のサービスの提供と農産物の産地形成のため造られました。特に農産物の販売に重点を置き、産地づくりを図っています。販売品の約9割が農産物とその加工品です。地場産品を販売することで、地域のPRにつなげていますね。 商品販売するためには、生産する人が必要です。農家の高齢化により、将来的な生

産者の減少が課題。出荷してくれる人がいなくなるのではと心配です。その課題解決に向け取り組みしている事業が野菜づくりを体験する「もっこりアグリチャレンジ」事業。家庭菜園を楽しむ目的の参加者も歓迎しますが、これから本格的に野菜を生産、販売する人材をじっくりと育てるのが目的です。土づくりから収穫、販売まで体験します。気軽にご参加ください。 Q道の駅みなみかたのお勧めなものを教えてください。 A施設内にあるもち工房「杵つき館」では、市内で栽培されたもち米「みやこがね」を使

用した餅を販売しています。丹念につきあげたコシの強さが自慢。ずんだやあんこ、スイーツのようなバター餅など豊富に取りそろえていますので、ぜひお越しください。



↑4種の味が楽しめる「小町御膳」 ↑スイーツ感覚の「バター餅」

【問い合わせ】道の駅みなみかた「もっこりの里」 ☎0220(58)3111 ※今月から平成28年3月31日まで、営業時間が午前9時～午後6時に変更となります。

まちの文芸 短歌

作品募集! ●1月号は俳句・川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、11月30日(月)までご応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。 ●応募者多数の場合選考して掲載します。

秋の日のもくもくランドは木の香良し 杉の木目の美しさを見る 湯けむりに集いし喜寿の古き友 米寿の会にも欠けじと誓う 町に越し空家となりし庭先に コスモスの花雨に濡れ咲く 産土の杜の太鼓も音絶えて さびしき語る友も逝きたり 羊年可愛がられし日々を去る 母なる国のオーストリアに

二ノ神武志 (迫) 相澤 志子 (東和) 小野寺典子 (中田) 熊谷てる子 (中田) 佐々木恒子 (中田)

荒ぶりし風去り残るコスモスの 花に黄蝶のたどたとと飛ぶ ゆくりなく敬老祝いと娘たち 栗に玉蜀黍をあまた携え 手に唾を競い合うがに稲刈りしと 杖引く媼は昔を語る 草を引く背に染みそむ小ぬか雨 花にらの畦の今日はそこまで

折居由紀子 (米山) 千葉たかこ (米山) 水野トヨコ (米山) 三上久美子 (南方) 阿部 洋子 (津山)

応募総数 20 作品